



網都市第 19号
平成19年4月19日

国土交通省道路局長 様

網走市長 大場



中期的な計画の策定にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記について、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

〔 網走市建設部都市開発課
課長 佐藤信之 〕

中期計画の策定にあたっての意見書

基礎的な社会資本である道路は、活発な社会経済活動を促進し、地域のさらなる発展や豊かな市民生活の実現を図る上で最も重要なツールである。

地域経済は、その地域内のみでの活動で成り立つものではなく、特に新鮮で安定した食料の供給・豊かな観光資源を全国に提供するオホーツク地域は、他圏域との交流・連携が地域社会を支える生命線となっている。

本市においては、高速道路等のネットワークがなく港湾、空港と体系的なつながりを持たないため、地域の資源が活かされず、産業振興のみならず市民生活で他都市に取り遅れ、さらなる地域間格差の拡大が懸念される。

格差是正のための「真に必要なツール」である高規格幹線道路の早期整備は、地域を支えていくための最重要課題である。

また、オホーツク圏においては、観光拠点の連携とともに、道路を核とした多様な観光資源の活用を図るシーニックバイウェイや景観に配慮した道路整備の取組みをさらに推進する必要がある。

よって、中期計画の作成にあたっては、広域分散型社会の形成から自動車交通へと頼らざるを得ないオホーツク地域の実情をよく理解し、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要請する。

記

- 1 短期的な費用対効果にとらわれることなく、地域社会を支えるツールとして、高規格幹線道路の早期整備が図られること。
- 2 地域特性が活かせる観光拠点連携、シーニックバイウェイの推進や地域の景観形成と合わせた道路整備を可能とすること。
- 3 効率的、効果的な道路整備を行うため、成果重視の観点から、道路ユーザーである道民、地域住民の意見を反映させ、地域の実情に則した多様な道路構造の採用を可能とすること。
- 4 交通情報システム等の活用による防雪・除雪等の冬期道路管理の高度化を図り、冬道においても高速性・安全性・定時性を堅固なものとし、緊急輸送の確実性を確保すること。

平成19年 4月19日

網走市長 大場 脩